厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
分担研究報告書

政策実現にむけたアドボカシー方策の検討

研究分担者 中村 正和 公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター長
研究代表者 片野田 耕太 国立がん研究センターがん対策研究所データサイエンス研究部 部長
研究協力者 道林 千賀子 岐阜医療科学大学看護学部 准教授
研究協力者 齋藤 順子 国立がん研究センターがん対策研究所行動科学研究部長実装科学研究 研究員
研究協力者 島津 太一 国立がん研究センターがん対策研究所行動科学研究部長実装科学研究 室長
研究協力者 谷口 千枝 愛知医科大学看護学部 教授
研究協力者 林 さえ子 愛知医科大学看護学部 講師

研究要旨

本研究は、わが国のたばこ政策の推進を目指して、実効性が期待できる政策実現にむけたアドボカシー方策を検討し、具体的なアクションを起こすことを目的とする。今年度の研究成果は次のとおりである。第1に、2024年度から始まる健康日本21（第三次）にむけて、わが国で取組が遅れている環境整備に焦点をあて、その方策を議論するとともに、実施主体である国や自治体、企業等向けにたばこ対策のロジックモデルとアクションプラン（ベストバイプランの提示と解説を含む）を作成した。これらの作成にあたっては、日本健康教育学会環境づくり研究会が中心となり、厚労科研辻班ならびに本研究班、島津班との連携の下で実施した。

第2に、2024年度から始まる第4期特定保健指導の制度改正やICTを活用した禁煙治療の進歩などを踏まえて、2018年に発行した禁煙支援マニュアル第二版増補改訂版を改訂し、第三版（暫定版）を作成した。主な改訂内容は、アウトカム評価の導入に伴う禁煙を目標とした特定保健指導の方法と実際、禁煙治療のICT面での進歩と制度化（オンライン診療、治療アプリ）、短時間禁煙支援（ABR方式）におけるConnect（禁煙治療の受療につなげる取組）の必要性と方法、禁煙後の体重増加対策としての禁煙補助薬や運動の重要性、である。

健康日本21（第三次）において、これらの研究成果を活用して、わが国のたばこ政策の推進を図る。

A. 研究目的

本研究は、わが国のたばこ政策の推進を目指して、実効性が期待できる政策実現にむけたアドボカシー方策を検討し、具体的なアクションを起こすことを目的とする。

B. 研究方法

1. 健康日本21（第三次）にむけた政策提言

2024年4月から始まる健康日本21（第三次）にむけて、分担研究者である中村が学会長を務

めた第31回日本健康教育学会学術大会（2023年7月22-23日開催）において、わが国で取組が遅れている環境整備を議論するために鼎談「健康行動を促す環境整備をどう進めるかー栄養・食生活、身体活動、たばこ分野について」を企画し、たばこ対策のほか、食生活・栄養と身体活動の3政策間で「介入のはしご」を共通の枠組みとして議論を行った。

次に、鼎談での議論も踏まえて、健康日本21（第三次）において国や自治体、企業等の関係団体

のたばこ対策の推進を図るため、日本健康教育学会環境づくり研究会が中心となり、厚労科研辻班ならびに本研究班、島津班の連携の下でたばこ分野におけるロジックモデルとアクションプランの作成を行った。ロジックモデルとアクションプランの作成にあたって、道林千賀子氏（岐阜医療科学大学看護学部）、齋藤順子氏と島津太一氏（国立がん研究センターがん対策研究所行動科学研究部）、研究代表者の片野田の協力を得た。

2. 第4期特定健診・特定保健指導にむけた禁煙支援マニュアルの改訂

2013年4月からの第2期特定健診・特定保健指導において喫煙の保健指導が強化されたが、2024年度から始まる第4期において、特定保健指導の実績評価にアウトカム評価が導入され、禁煙等の行動変容を目的とした保健指導が一定の要件を満たせば、特定保健指導として認められることになった。利用者の利便性につながる禁煙治療のオンライン診療については、2017年7月から保険者の保健事業として全ての診療をオンラインで実施できるようになった。医療保険においても、2022年度からかかりつけ患者をはじめ一定の要件を満たせば、全てオンライン診療で実施できるようになった。さらに、2020年12月にはスマートフォンを用いた禁煙治療用アプリが医療機器として薬事承認された。これらの制度改正やICTを活用した禁煙治療の進歩などを踏まえて、2018年に発行した禁煙支援マニュアル第二版増補改訂版を改訂し、第三版（暫定版）を作成した。暫定版の作成にあたり、谷口千枝氏と林さえ子氏（愛知医科大学看護学部）の協力を得た。

（倫理面への配慮）

本研究は、すでに公開されている情報にもとづいたものであり、倫理上の問題は発生しない。

C. 研究結果

1. 健康日本21（第三次）にむけた政策提言第31回日本健康教育学会学術大会の鼎談では、食生活・栄養、身体活動、たばこ対策の3名の専門家が2名の指定演者を交え、「介入のはしご」を共通の枠組みとして、環境整備の現状と課題、今後必要な政策や取組と評価について、3分野横断の議論を行った。分担研究者である中村がたばこ対策の指定演者を担当した。研究代表者の片野田が指定発言者としてたばこ対策における評価の枠組みと方法、評価結果を紹介した。鼎談での議論の内容を日本健康教育学会誌に特別論文としてとりまとめた。

次に、健康日本21（第三次）にむけて国や自治体、企業等の関係団体に対して作成したたばこ対策のロジックモデルとアクションプランは以下のとおりである。ロジックモデルは第三次の4つの目標、すなわち、成人喫煙率の減少、未成年者の喫煙をなくす、妊婦の喫煙をなくす、受動喫煙の機会を有する者の減少について作成した。目標達成のための個別の施策（アクションプラン）を「介入のはしご」で整理して示すとともに、取組の実態、実効性、実行可能性等を考慮して、3つのベストバイプラン（お勧めのアクションプラン）を取上げ、その有効性、実施のポイントと留意点、好事例などについて具体的に解説した。ベストバイプランのテーマは、①日常診療や健診等の保健事業の場での短時間禁煙支援の実施、②受動喫煙の法規制の強化と上乘せ条例の拡大、③職場のたばこ対策の推進である。本内容は日本健康教育学会誌の特別号として2024年5月頃に発刊予定である。

2. 第4期特定健診・特定保健指導にむけた禁煙支援マニュアルの改訂

禁煙支援マニュアル（第三版）暫定版の作成にあたっての主な改訂内容は、①アウトカム評価の導入に伴う禁煙を目標とした特定保健指導の方法と実際、②禁煙治療のICT面での進歩と制度化（オンライン診療、治療アプリ）、③短時間禁煙支援（ABR方式）におけるConnect（禁

煙治療の受療につなげる取組)の必要性と方法、④禁煙後の体重増加対策としての禁煙補助薬や運動の重要性、⑤改正健康増進法、健康日本21計画関連の説明の追加、⑥新しい統計データやエビデンスの更新、⑦禁煙・受動喫煙リーフレット・ワークシートの改訂・改良である。暫定版を本報告書の末尾に示す。

D. 考察

これまでの健康日本21の第一次、第二次計画において、主に数値目標を用いて具体的な目標が設定されたものの、その目標を達成するための道筋や方策について示されてこなかった。このことは、都道府県や市町村などが地方計画を策定する際に効果的な方策の立案につながらないだけでなく、評価においても国の計画と同様の目標の達成状況だけの評価にとどまるが多かった。そこで、第三次計画の目標を達成するための道筋や方策であるロジックモデルとアクションプランを分担研究者の中村や研究代表者の片野田が参加する日本健康教育学会環境づくり研究会が中心となって作成することとなり、本研究班としてもこれまでの研究成果を活用して作成に関わった。

介入のはしごで整理した個別の施策をアクションプランと呼ぶこともできるかもしれない。しかし、施策名を示すだけでは、何をすべきか(What)の項目がわかるだけで、具体的にどうするか(How)についてはわからない。アクションプランは、エビデンスと好事例を参考に作成された具体的な行動計画のことであり、示すことで目標に対して取るべきアクションが明確になる。そこで具体的な取組が示されたお勧めの3つのベストバイプランを合わせて示すこととした。3つのテーマの選定にあたっては、お勧めの根拠となる実行可能性と実効性を担保するために、次の方針で選定した。すなわち、①法律的な裏付けのある既存の事業や制度を活用する(既存事業の活用)、②施策単独でなく、介入内容の異なる施策を組合せる(施策ミックス)、

③複数の実施主体が相互に連携・協働する取組を提案する(多機関連携・協働)である。

今回、禁煙支援マニュアル第三版(暫定版)を作成したのは、3つのベストバイプランの1つである、日常診療や健診等の保健事業の場での短時間禁煙支援の推進を図ることが主要な理由である。

第4期特定保健指導の制度改正やICTを活用した禁煙治療の進歩を活用した、禁煙支援の量的拡大と質の向上につながることを期待したい。

引用文献

- 1) 武見ゆかり, 吉池信男: 特別報告 特集 第31回日本健康教育学会学術大会 健康行動を促す環境整備をどう進めるかー栄養・食生活, 身体活動, たばこ分野についてー. 日本健康教育学会誌, 31(4): 234-241, 2023.

E. 結論

2024年度から始まる健康日本21(第三次)に合わせてたばこ対策を推進するために、たばこ施策のロジックモデルとアクションプランを作成した。また、特定健診・特定保健指導をはじめ、各種保健事業の場での禁煙支援を推進するために、現行の禁煙支援マニュアル第二版増補改訂版を改訂し、第三版(暫定版)を作成した。今後、これらの研究成果を活用して、わが国のたばこ政策の推進を図る。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Junko Saito, Miyuki Odawara, Maiko Fujimori, Aya Kuchiba, Shunsuke Oyamada, Khin Thet Swe, Eiko Saito, Kota Fukai, Masayuki Tatemichi, Masakazu Nakamura, Yosuke Uchitomi,

- Taichi Shimazu: Interactive assistance via eHealth for small-and medium-sized enterprises' employer and health care manager teams on tobacco control (eSMART-TC): protocol for a cluster randomized hybrid type II trial (N-EQUITY2101/J-SUPPORT2102). *Implementation Science Communications*, 2023; 4(1), 1-14.
- 2) 中村正和: 特別報告 特集 第 31 回日本健康教育学会学術大会 研究成果を社会に還元するーたばこ対策からの教訓ー. *日本健康教育学会誌*, 31(4): 226-233, 2023.
 - 3) Michikazu Nakai, Yoshitaka Iwanaga, Yoko Sumita, Tetsuya Amano, Ikuo Fukuda, Tomoyasu Hirano, Mami Iida, Kota Katanoda, Yoshihiro Miyamoto, Masakazu Nakamura, Keijiro Saku, Takahiro Tabuchi, Hiroshi Yamato, Bo Zhang, Hisayoshi Fujiwara: Long-Term Follow-up Study of Hospitalizations for Acute Coronary Syndrome in Kobe-City and Other Districts Under the Hyogo Smoking Ban Legislation— A Nationwide Database Study —. *Circulation Journal*, 2023; 87: 1680-1685.
 - 4) Nagasawa T, Saito J, Odawara M, Kaji Y, Yuwaki K, Imamura H, Nogi K, Nakamura M, Shimazu T: Smoking cessation interventions and implementations across multiple settings in Japan: a scoping review and supplemental survey. *Implementation Science Communications*, 2023; 4(1):146. doi: 10.1186/s43058-023-00517-0.
 - 5) 中村正和: 連載 第 4 期特定健診・特定保健指導で成果を上げるー第 6 回 効果的な禁煙支援のポイント. *日本栄養士会雑誌*, 66(12): 14-17, 2023.
 - 6) 中村正和: 特集 健康日本 21 (第 2 次) の 20 年間の評価と次期プラン 健康日本 21 の 20 年間の評価 喫煙、飲酒に関する最終評価の今後の展望. *公衆衛生*, 88(2): 196-205, 2014.
 - 7) 片野田耕太、十川佳代、中村正和: 「たばこハームリダクション」は可能か? : 国際的動向と日本での論点. *日本公衆衛生雑誌*, 71(3): 141-152, 2023.
 - 8) Chikako Michibayashi , Masakazu Nakamura, Shizuko Omote: Identifying Training Needs for Tobacco Control: A Cross-sectional Study of Local Public Health Nurses in Japan. *Medical Science and Educational Research*, 18, 2024; 41-46.
2. 学会発表
- 1) 中村正和: 研究成果を社会に還元する. 学会長講演, 第 31 回日本健康教育学会学術大会, 2023 年 7 月, 東京.
 - 2) 中村正和: たばこ対策における環境整備. 鼎談 ヘルスプロモーションの谷間に火を灯す, 第 31 回日本健康教育学会学術大会, 2023 年 7 月, 東京.
 - 3) 中村正和: たばこ分野における取り組み. シンポジウム 1 社会環境アプローチによるがんリスク低減の取り組みー, がん予防学術大会 2023, 2023 年 9 月, 金沢.
 - 4) 中村正和: たばこ対策のアドボカシー: 政策提言ファクトシートの紹介. シンポジウム 2 7 激論! タバコ対策におけるホットトピックス, 第 82 回日本公衆衛生学会総会, 2023 年 10 月, 茨城.
 - 5) 中村正和: [シンポジウム基調講演] 特定健診・特定保健指導での効果的な禁煙推進. シンポジウム 1 健診・保健指導と禁煙支援の連携, 第 17 回日本禁煙学会学術総会, 2023 年 10 月, 神奈川.
 - 6) 中村正和: 禁煙支援・治療の指導者養成のための WEB 学習プログラムの開発 (J-

STOP ネクスト) . 第 17 回日本禁煙学会
学術総会, 2023 年 10~11 月, WEB 開催.

3. 書籍

- 1) 中村正和: 1 章 物質使用症群 ニコチン
使用症. 松下正明監修、神庭重信編集主幹、
樋口進編: 講座 精神疾患の臨床 8 物質使
用症又は嗜癖行動症群性別不合, 東京, 中
山書店, p195-206, 2023.

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

この研究において、知的財産権に該当するも
のはなかった。

禁煙支援マニュアル（第三版） 暫定版

厚生労働省 健康局 健康課編

3. 喫煙者用リーフレット（短時間支援用）	148
4. 喫煙者用ワークシート（標準的支援用）	150
5. 受動喫煙に関する情報提供用リーフレット	156

目次

I. 本教材のねらいと特徴	1
1. 本教材のねらいと特徴	2
2. 本教材の構成	2
II. 知臨編—健診や保健指導の場で短時間でできる禁煙支援	5
1. 非感染性疾病(NCDs)対策における禁煙の意義	6
2. 健診・保健指導などでできる短時間支援法	21
3. 受動喫煙に関する健康影響と情報提供	57
4. 健康日本21のビジョンと喫煙分野の目標	64
III. 実践編— カウンセリング学習 「短時間でできる禁煙の効果的な働きかけ」	69
1. 健診や保健指導での禁煙支援の取り組み方	70
2. 受動喫煙に関する情報提供	73
3. 短時間支援（ABR方式）の取り組み方	75
4. 標準的支援（ABC方式）の取り組み方	81
5. 禁煙支援・受動喫煙に関する情報提供の実際	90
6. 喫煙に関するフィードバック文例集	110
7. 短時間の禁煙アドバイス—お役立ちセリフ集	113
IV. 資料編— 禁煙支援に役立つ教材や資料	131
1. 保健指導のための禁煙支援簡易マニュアル	132
2. 喫煙・受動喫煙に関する質問票	147

I. 本教材のねらいと 特徴

1. 本教材のねらいと特徴

本教材は、地域や職域の健診・保健指導等の保健事業の場で、短時間で禁煙支援に取り組むための知識や方法を保健医療従事者に習得してもらうことを目的とした学習教材です。知識編では、メタボリックシンドローム対策や非感染性疾患(Non-communicable diseases: NCDs)対策における禁煙支援の意義、保健事業の場での禁煙支援の方法を学習します。

実践編では、健診・保健指導の場を例として、喫煙者に対して短時間で行う禁煙支援の具体的な方法を学習します。

本教材の特徴は、①自己学習が可能な教材となっていること、②これまでの研究成果や経験を踏まえ、健診等の時間が限られた場面で実施可能な方法を提案していること、③カウンセリングの動画のほか、保健事業の場で使えるお役立ちセリフ集が紹介されること等、実践的な内容であることです。

2. 本教材の構成

本教材は、印刷教材と映像教材の2つから構成されています。それぞれの構成は、下記の表1の通りです。印刷教材に連動した映像教材がある場合は、印刷教材に合わせて映像教材の動画を視聴しながら学習を進めてください。本学習時間の目安は約2～3時間です。

表1. 印刷教材と映像教材の構成

学習内容	印刷教材	映像教材
知識編「健診や保健指導の場で短時間でできる禁煙支援」		
1. 非感染性疾患(NCDs)対策における禁煙の意義	○	なし
2. 健診・保健指導などでできる短時間支援法	○	なし
3. 受動喫煙に関する健康影響と情報提供	○	なし
実践編「カウンセリング学習」		
1. 健診や保健指導での禁煙支援の取り組み方	○	なし
2. 受動喫煙に関する情報提供	○	なし
3. 短時間支援 (ABR方式) の取り組み方	○	○(動画1～5)
4. 標準的支援 (ABC方式) の取り組み方	○	○(動画6～11)
5. 禁煙支援・受動喫煙に関する情報提供の実例	○	なし
6. 喫煙に関するフィードバック文例集	○	なし
7. 短時間の禁煙アドバイスお役立ちセリフ集	○	なし

資料編－禁煙支援に役立つ教材や資料		
1. 保健指導のための禁煙支援簡易マニュアル	○	なし
2. 喫煙・受動喫煙に関する質問票	○	なし
3. 喫煙者用リーフレット (短時間支援用)	○	なし
4. 喫煙者用ワークシート (標準的支援用)	○	なし
5. 受動喫煙に関する情報提供用リーフレット	○	なし

表2. 映像教材の学習内容

テキストタイトル	動画の内容	ファイル名
動画1	ケースIの鈴木さんの場合 「短時間の禁煙アドバイス－重要性の強化」	ケースI「禁煙アドバイス－重要性の強化」
動画2	ケースIの鈴木さんの場合 「短時間の禁煙アドバイス－解決策の提案」	ケースI「禁煙アドバイス－解決策の提案」
動画3	ケースIIの田中さんの場合 「短時間の禁煙アドバイス－重要性の強化」	ケースII「禁煙アドバイス－重要性の強化」
動画4	ケースIIの田中さんの場合 「短時間の禁煙アドバイス－解決策の提案」	ケースII「禁煙アドバイス－解決策の提案」
動画5	ケースIの鈴木さんの場合 「禁煙治療のための医療機関等の紹介」	ケースI「医療機関等の紹介」
動画6	ケースIの鈴木さんの場合 「禁煙実行・継続の支援－初回面接」	ケースI「禁煙実行・継続の支援－初回面接」
動画7	ケースIの鈴木さんの場合－禁煙治療編 「禁煙実行・継続の支援－2週間後のフォローアップ (シーン1)」	ケースI－治療編「禁煙実行・継続の支援－2週間後」
動画8	ケースIの鈴木さんの場合－禁煙治療編 「禁煙実行・継続の支援－1か月後のフォローアップ (シーン2)」	ケースI－治療編「禁煙実行・継続の支援－1か月後」
動画9	ケースIの鈴木さんの場合－禁煙治療編 「禁煙実行・継続の支援－6か月後のフォローアップ (シーン3)」	ケースI－治療編「禁煙実行・継続の支援－6か月後」
動画10	ケースIの鈴木さんの場合－OTC薬編 「禁煙実行・継続の支援－2週間後のフォローアップ 禁煙できている場合 (シーン4)」	ケースI－OTC薬編「禁煙実行・継続の支援－2週間後」(禁煙できている場合)
動画11	ケースIの鈴木さんの場合－OTC薬編 「禁煙実行・継続の支援－2週間後のフォローアップ 禁煙できなかった場合 (シーン5)」	ケースI－OTC薬編「禁煙実行・継続の支援－2週間後」(禁煙できなかった場合)